



サンコール株式会社

～ 平成27年3月期 決算報告 ～

平成27年6月04日

代表取締役社長 山主千尋

将来予想に関する注意事項

本日の説明および配布資料には、当社に関する業績見通し、計画、方針等の将来予想に関する記述が含まれています。これら将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク、不確実な要因その他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因その他の要因による影響を受けることがあるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来に予想に関する記述に明示または黙示される内容と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新または修正して公表する責任を負いません。

1. 平成27年3月期 決算要約
2. 平成28年3月期 業績見通し
3. 会社概要
4. 当社製品群
5. 今後の事業展開

1. 平成27年3月期 決算要約
2. 平成28年3月期 業績見通し
3. 会社概要
4. 当社製品群
5. 今後の事業展開

【外部環境】

- 消費増税の反動減あるが、企業収益、雇用情勢改善により回復基調
- 米国経済は設備投資、雇用情勢が改善し、個人消費も底堅く堅調に推移
- 中国経済は内需減少により、成長率は横ばい
- アジア経済はタイ輸出低迷なるが、緩やかな成長

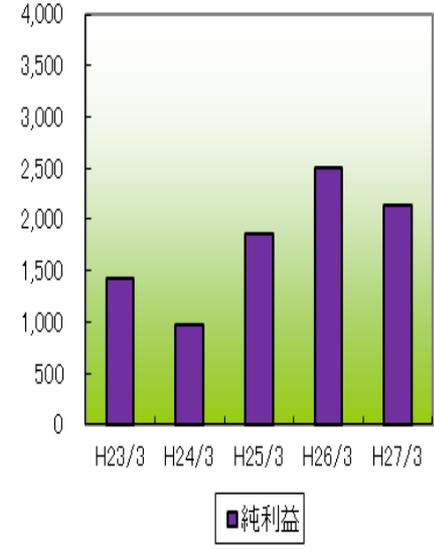
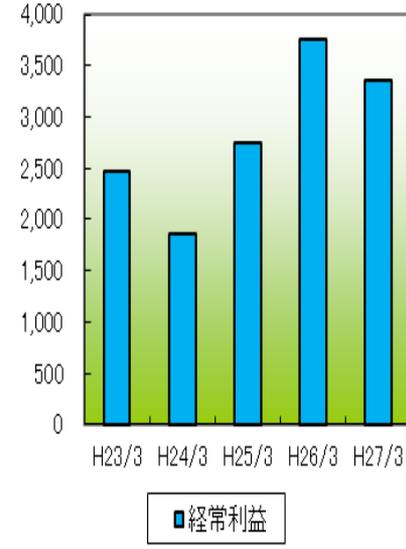
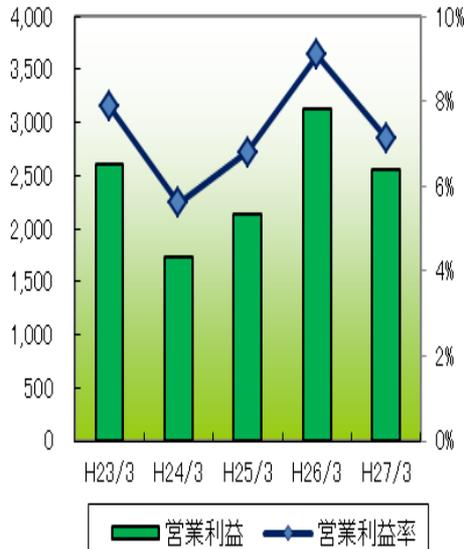
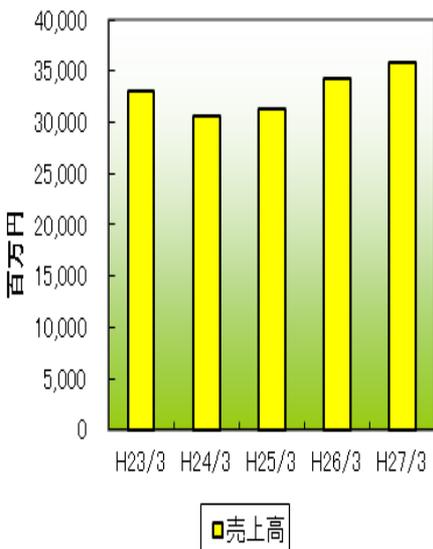
【実績】

- 海外需要増により増収なるが、増産費用、新会社立上費用が増加し減益
- 日本 …… 消費増税による影響で自動車関連売上が低迷
 - …… サスペンションは安定需要と新製品販売増加により売上増
- 米国 …… 自動車関連は下期以降好調、光通信部品は売上減
- 中国 …… 自動車関連は安定受注で売上増
- タイ …… 自動車関連は横ばい、プリンター関連はシェア拡大により売上増

連結業績概要(1)

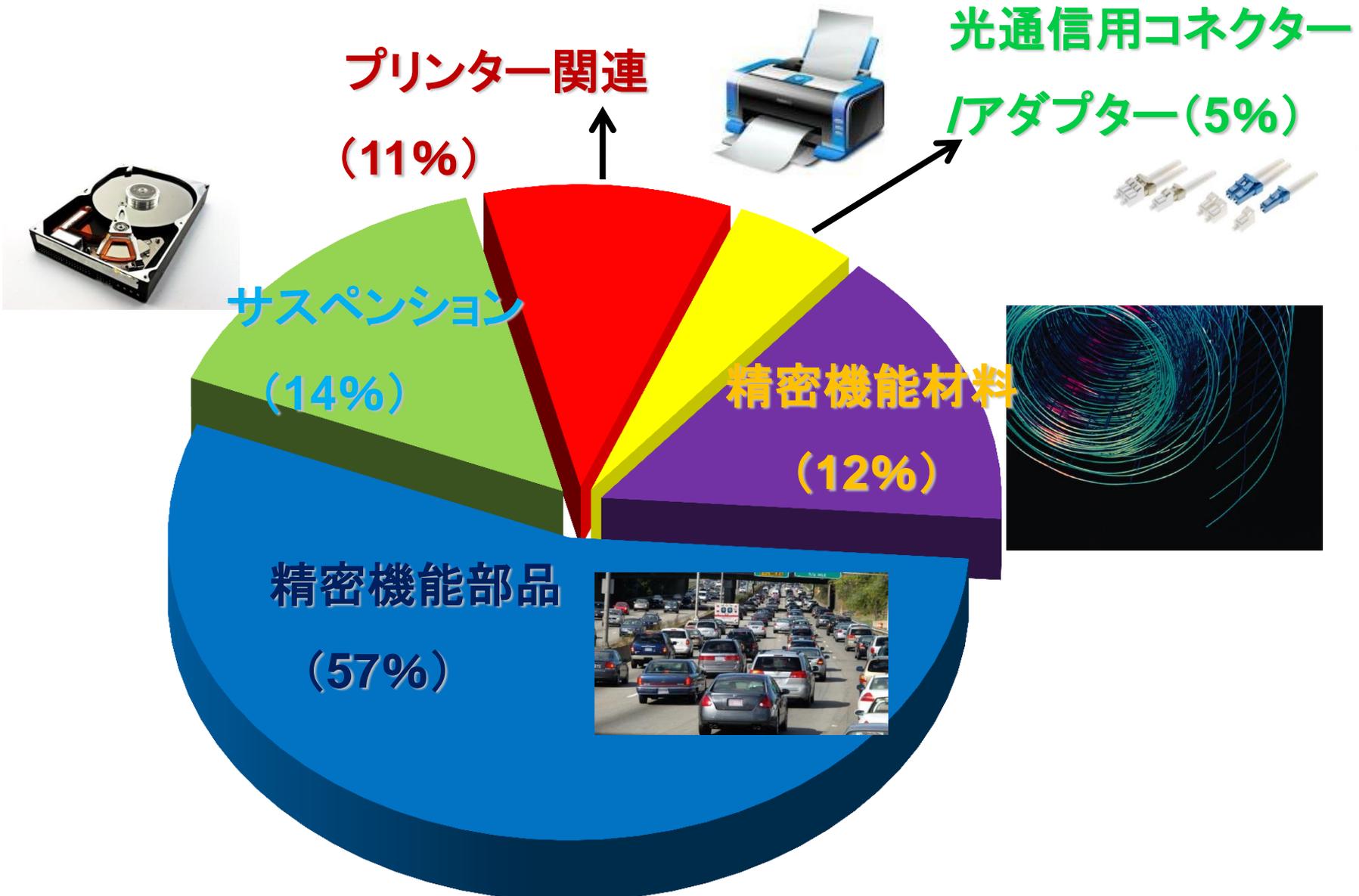
(単位:百万円)	平成26年3月期	平成27年3月期		
	実績	実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	34,282	35,816	+1,534	+4.5%
営業利益	3,127	2,557	-570	-18.2%
経常利益	3,757	3,352	-405	-10.8%
当期純利益	2,498	2,143	-355	-14.2%
平均為替レート 円/USD 円/EURO	100.24円 134.38円	109.94円 138.78円		

連結業績概要(2)

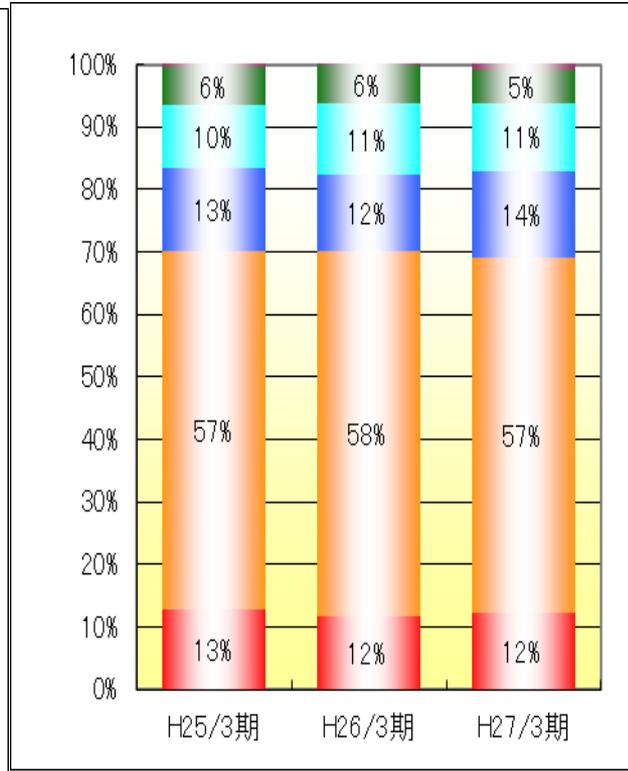
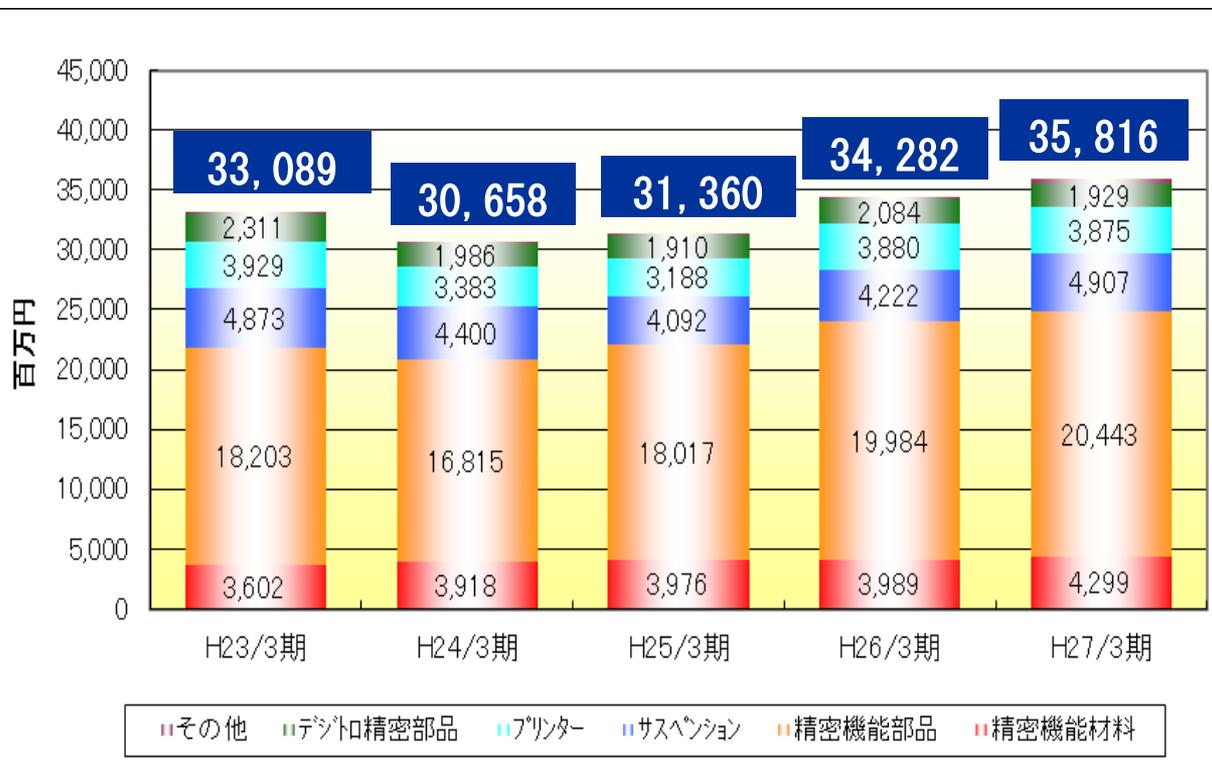


- 平成23年3月期
 - 平成24年3月期
 - 平成25年3月期
 - 平成26年3月期
- エコカー補助金、東日本大震災
 - 震災の影響、タイ洪水、超円高
 - 震災復興、エコカー補助金、日中関係悪化、円高是正
 - 消費増税前駆け込需要、円安進行、輸出採算改善

事業領域



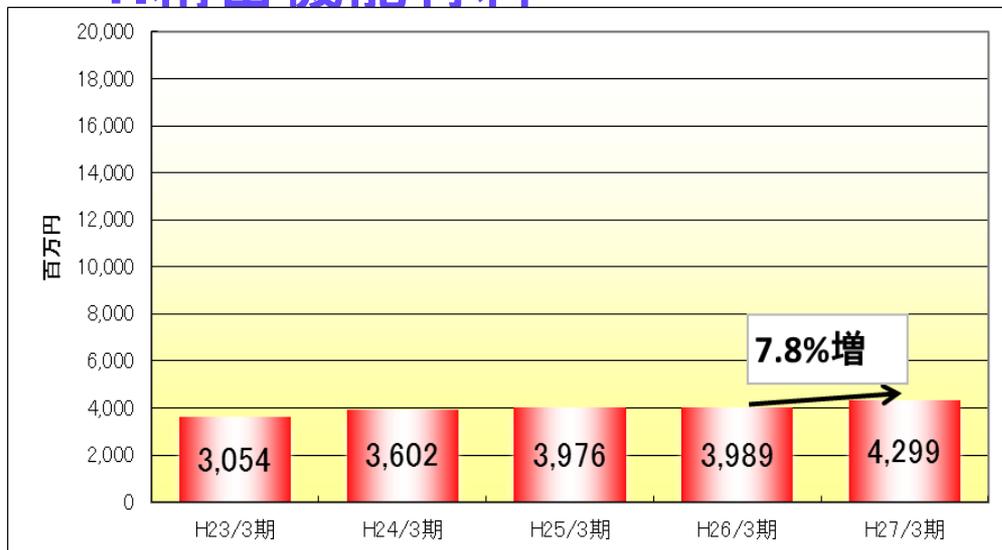
製品区分別売上高



- 自動車関連の売上に占める割合は70%程度で推移
- サスペンションの売上割合 2ポイント増加

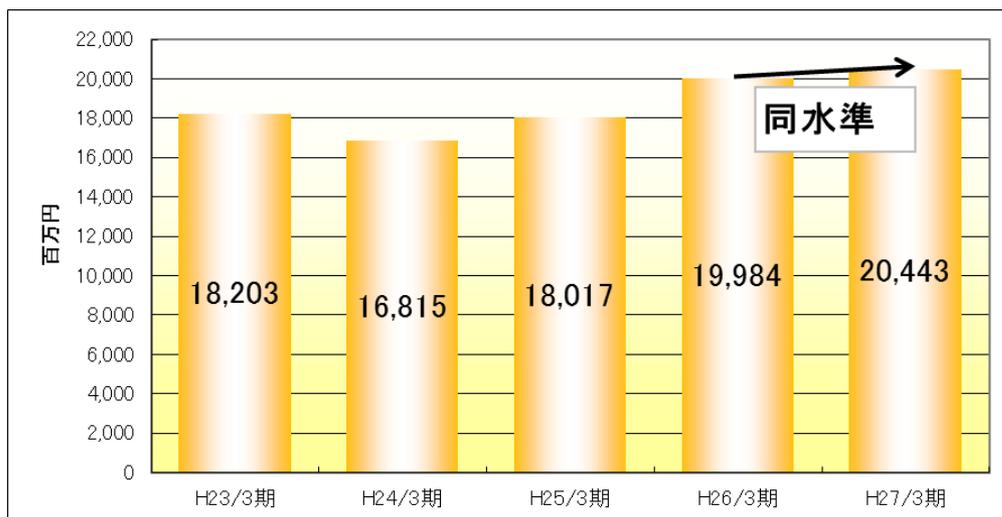
製品区分別売上高推移(1)

1.精密機能材料



- ・ 自社使用減で外販量増加
- ・ 弁ばね材はフル操業継続

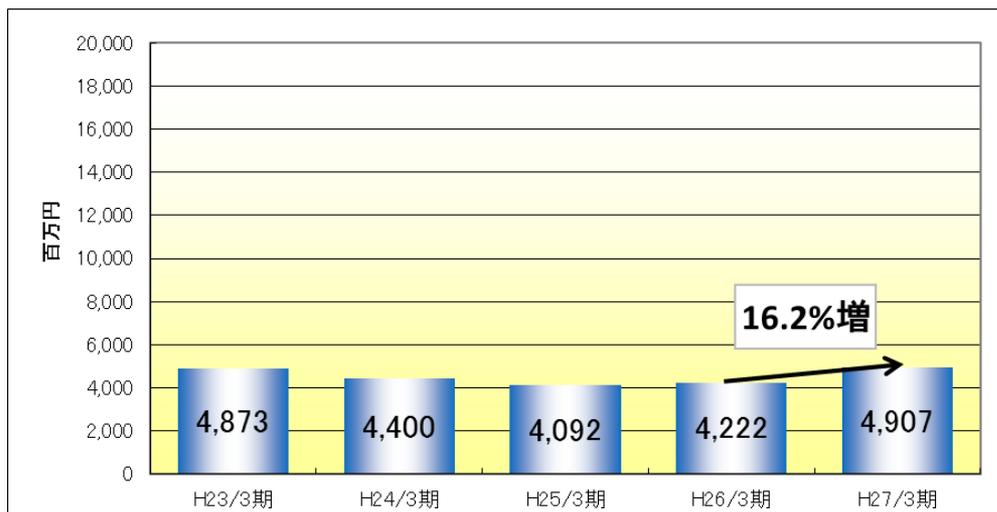
2.精密機能部品



- ・ 国内増税影響で低調
- ・ 米国・中国は需要増で伸長
- ・ タイは年度後半持ち直し

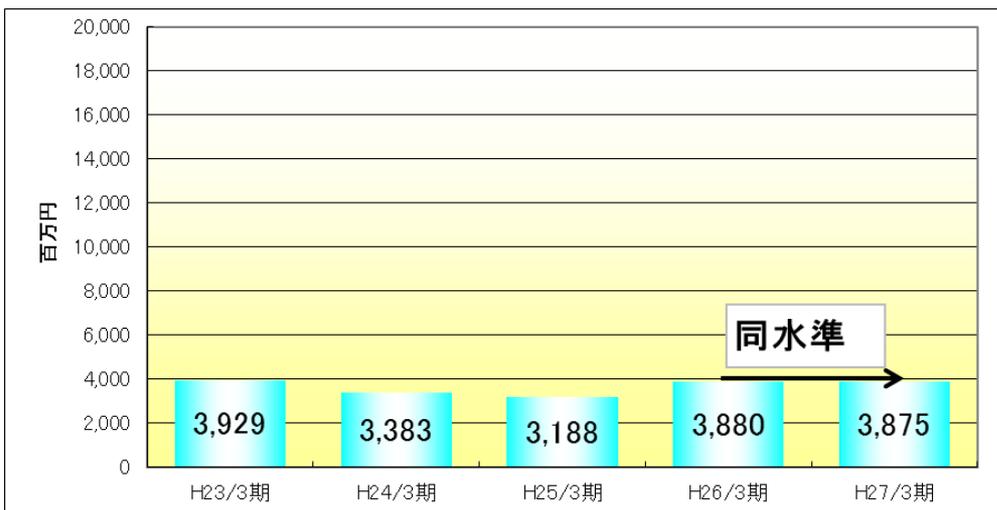
製品区分別売上高推移(2)

3. サスペンション



- ・ パソコン需要低迷
- ・ 新製品(DSA)販売増
- ・ 円安効果

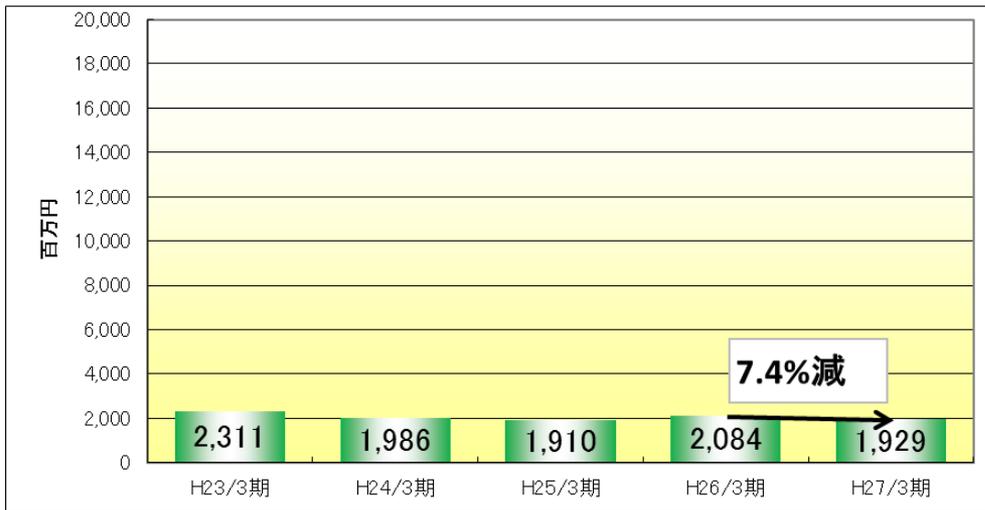
4. プリンター関連



- ・ タイ販売シェア拡大
- ・ ベトナムムクローラー好調
- ・ 香港は顧客生産移管で低調

製品区分別売上高推移(3)

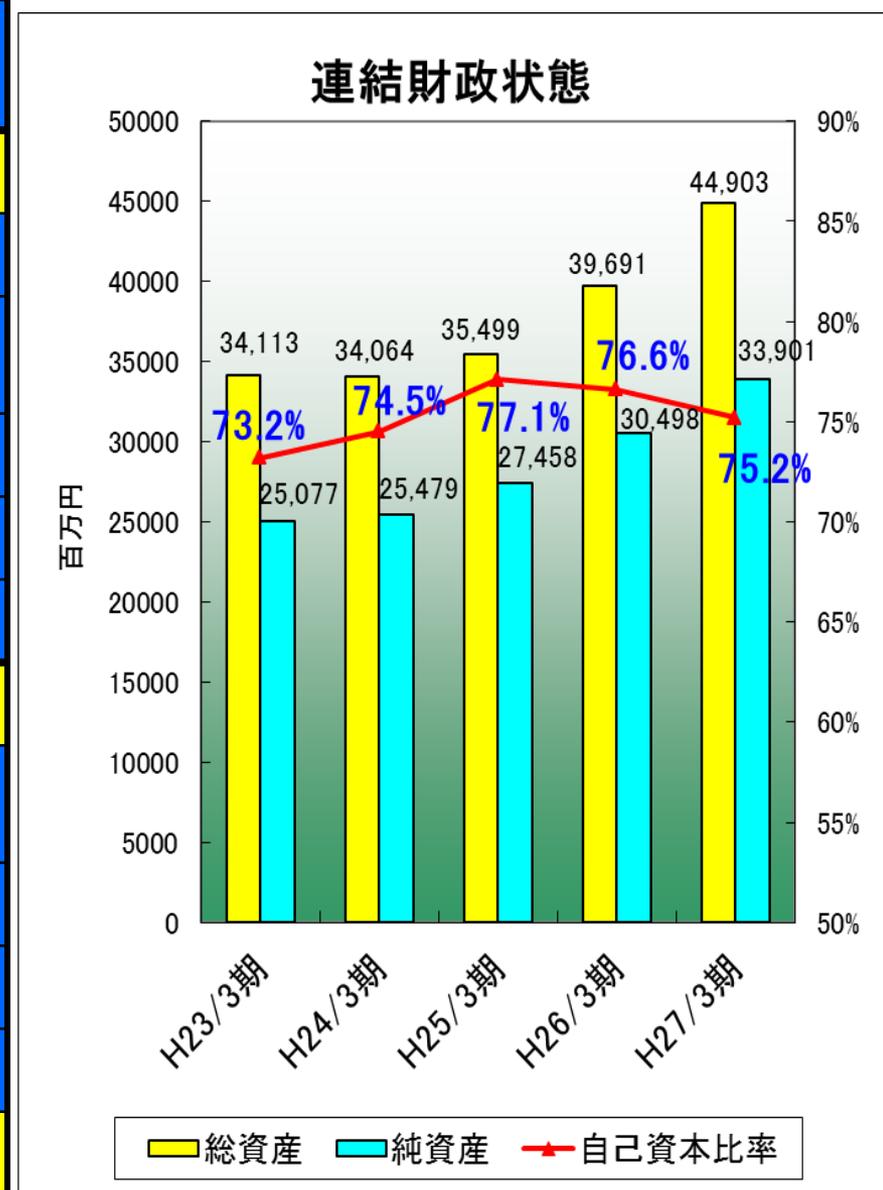
5. デジトロ精密部品



- ・ 米国光通信部品低調
- ・ 香港は競合製品参入で低調

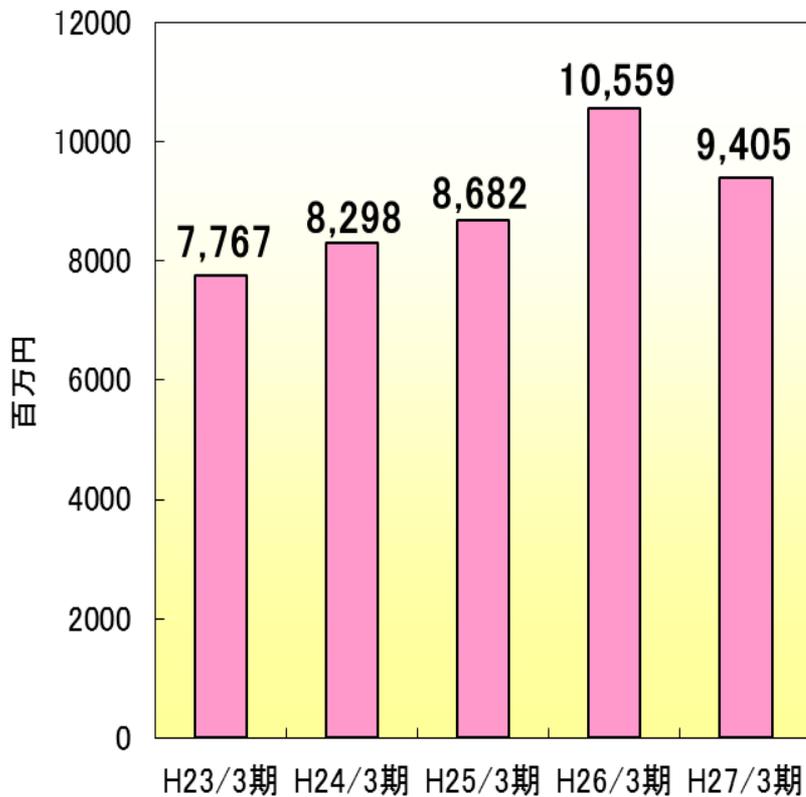
連結財政状態

(単位:百万円)	平成26年3月末	平成27年3月末
資産合計	39,691	44,903
現金及び預金	10,559	9,405
受取手形及び 売掛金	7,119	8,043
たな卸資産	4,162	4,473
その他流動資産	622	1,069
固定資産	17,225	21,910
負債合計	9,193	11,002
支払手形及び 買掛金	4,178	4,516
短期借入金	-	-
長期借入金	-	409
その他負債	5,010	6,070
純資産合計	30,498	33,901

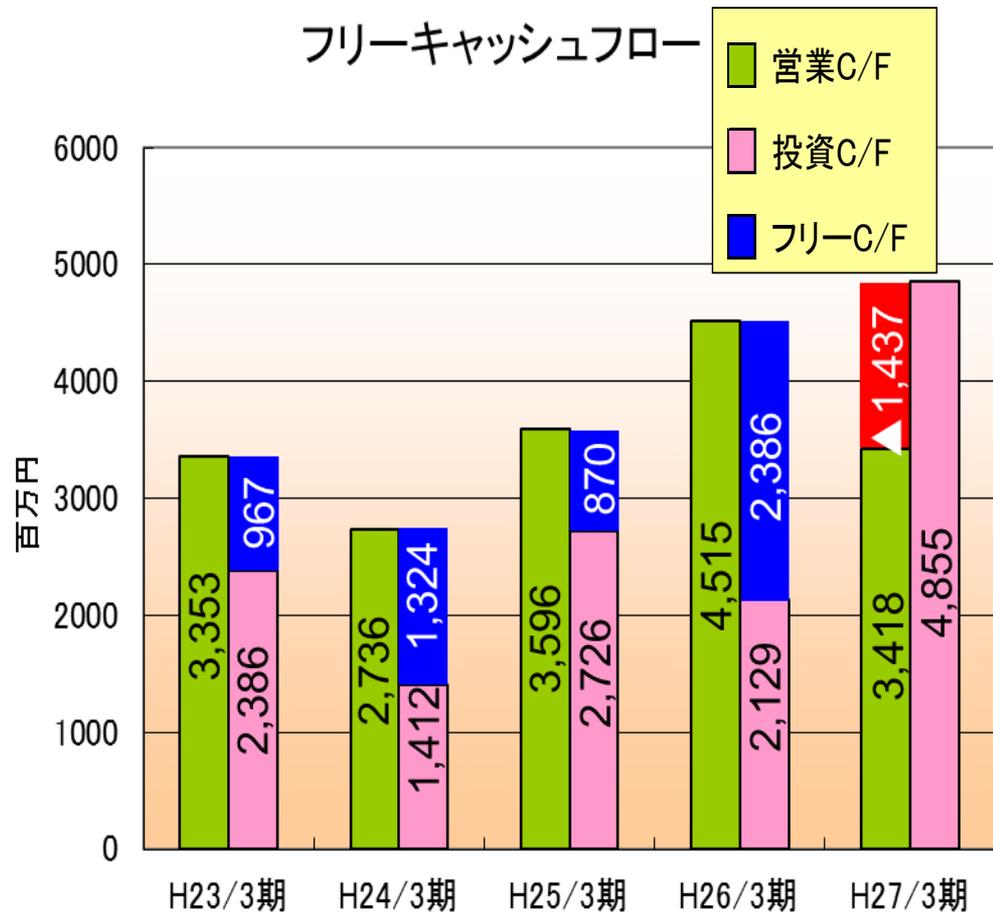


現預金とフリーキャッシュフロー

現預金



フリーキャッシュフロー

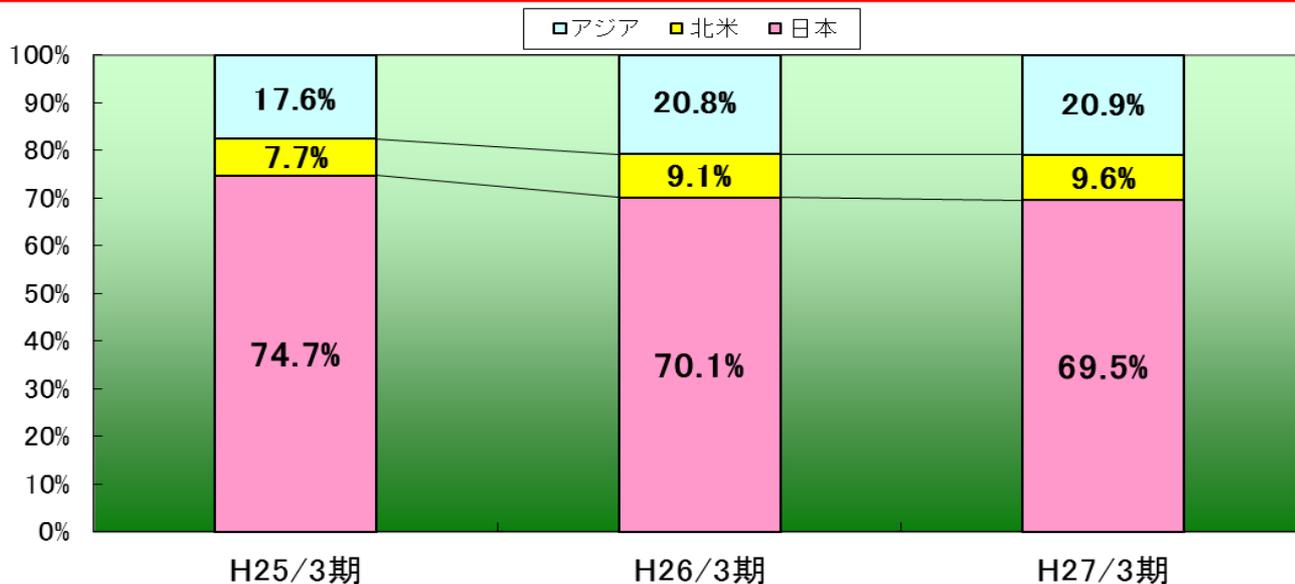




海外生産比率と海外向先比率

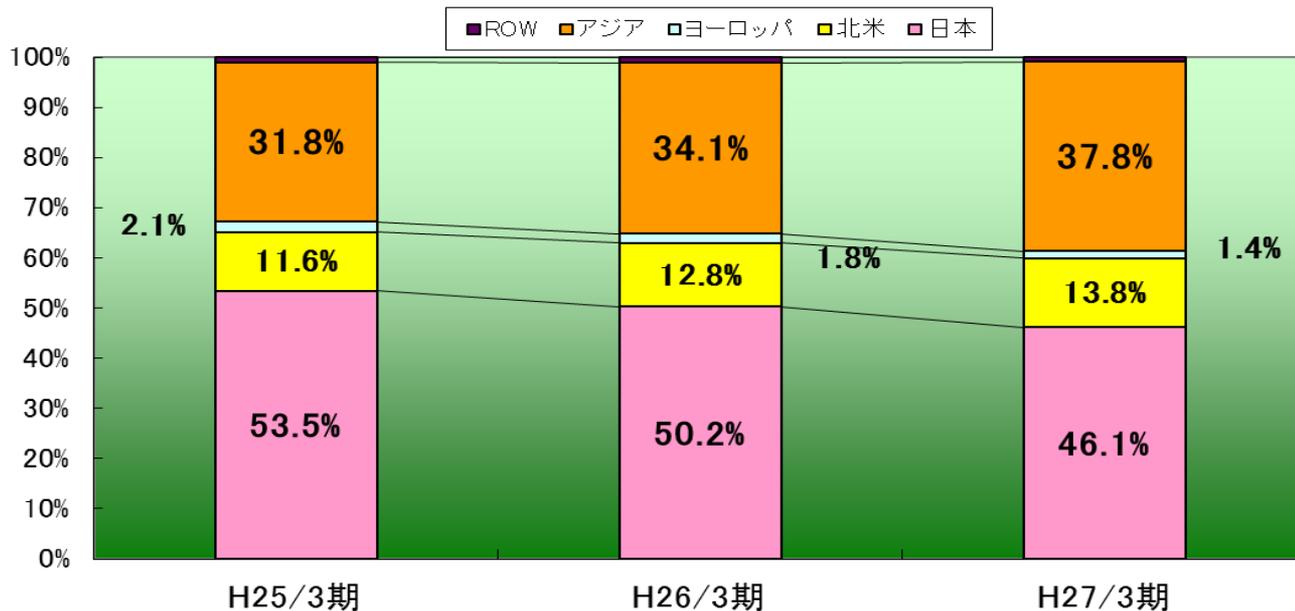
海外生産比率

30%⇒31%



海外販売比率

50%⇒54%



1. 平成27年3月期 決算要約
2. 平成28年3月期 業績見通し
3. 会社概要
4. 当社製品群
5. 今後の事業展開

事業環境の見通し

【外部環境】

- ✓ 一時的変動あるが、為替は円安水準を維持
- ✓ 国内：政府の成長戦略効果により、引続き景気回復基調
米国：設備投資、個人消費が底堅く堅調を維持
中国：成長率鈍化するが、引続き需要旺盛
- ✓ タイは本格的景気回復を期待
- ✓ パソコンとプリンターの販売需要は低調に推移

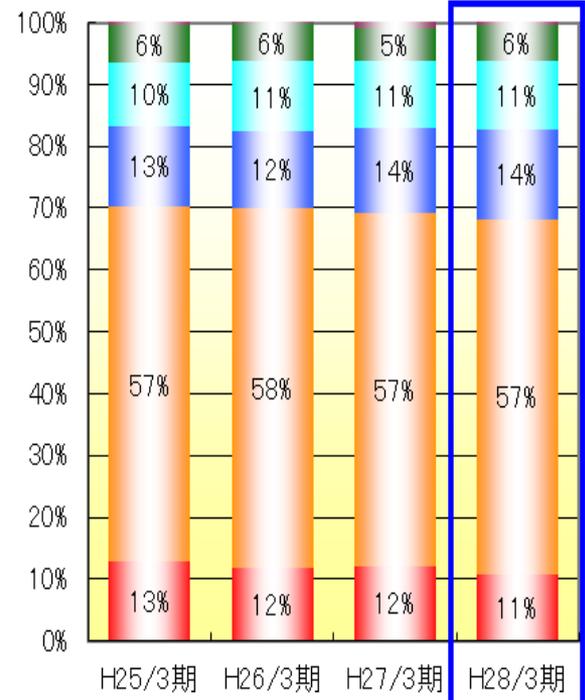
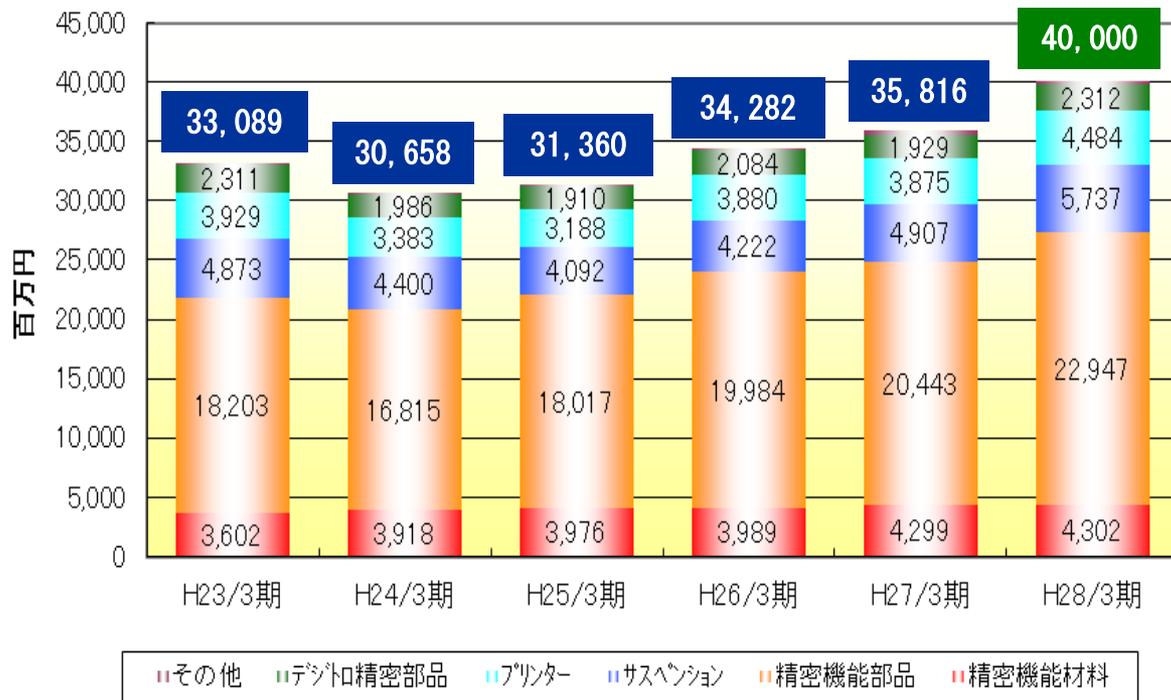
【内部環境】

- ✓ 為替レート 1ドル115円を想定
- ✓ 前期発生した増産対応費用等が減少し、営業利益増。円安効果がなく
経常利益減
- ✓ 自動車部品はワールドワイドで堅調
- ✓ 材料は中国合弁会社からの供給増なるが、精密異形材減少で同水準
- ✓ サスペンションはDSAの販売増、ローラーはムク材増加、デジトロ製品は
新規顧客開拓により増加

連結業績見通し

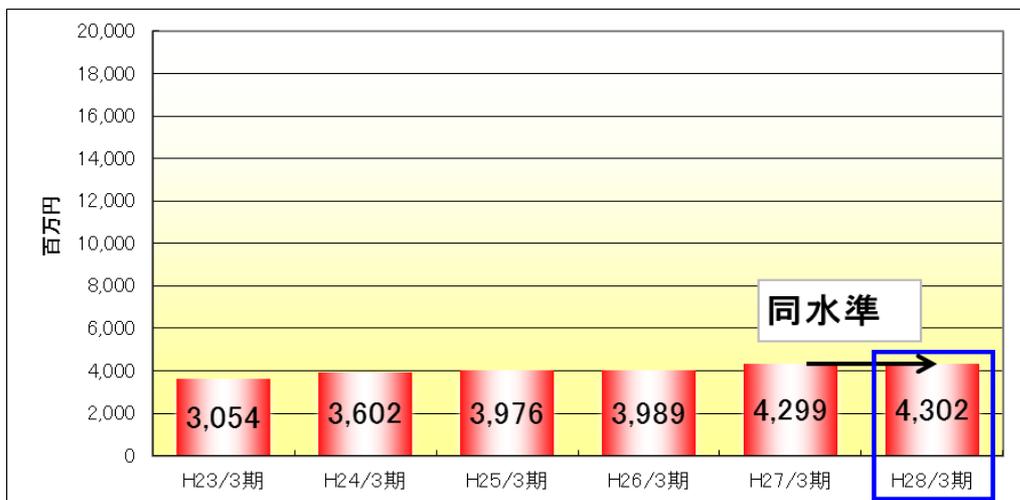
(単位:百万円)	平成27年3月期	平成28年3月期		
	実績	見通し	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	35,816	40,000	+4,184	+11.7%
営業利益	2,557	3,200	+643	+25.1%
経常利益	3,352	3,200	-152	-4.6%
当期純利益	2,143	2,200	+57	+2.7%
1株当り当期純利益	67円58銭	69円38銭		

製品区分別売上高見通し



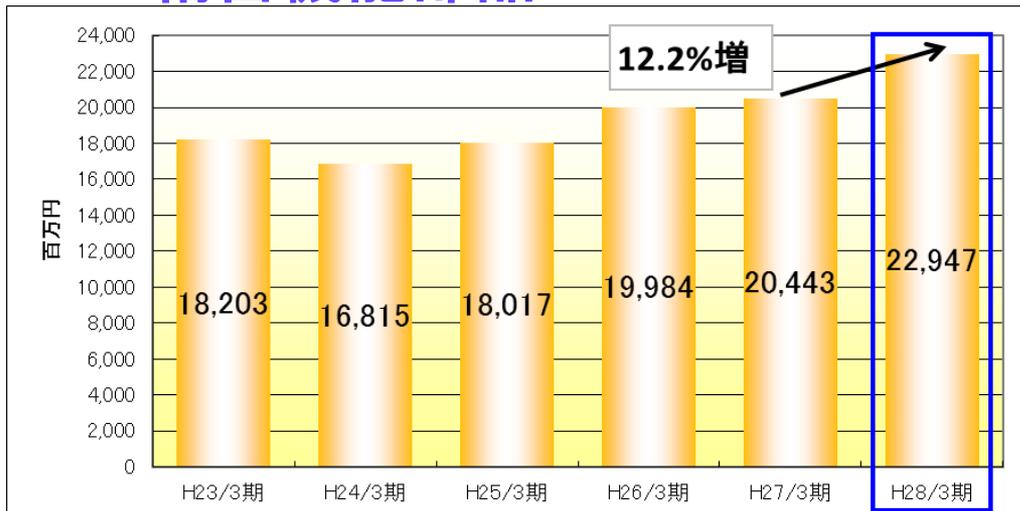
製品区分別売上高見通し(1)

1.精密機能材料



- 中国合弁会社からの販売増なるが、精密異形材減少により同水準

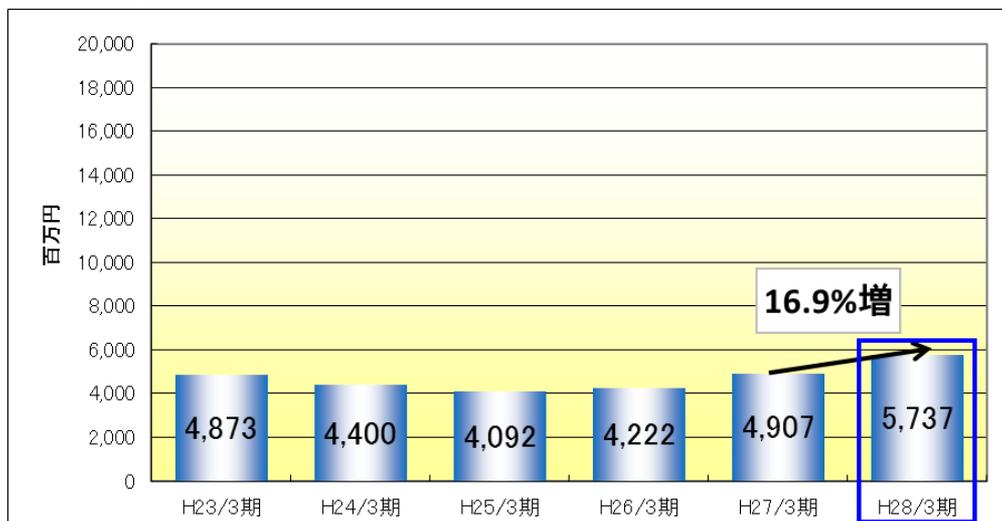
2.精密機能部品



- 米国、中国ともに需要増加
- ミッション関連部品の受注増
- 中国新会社量産開始

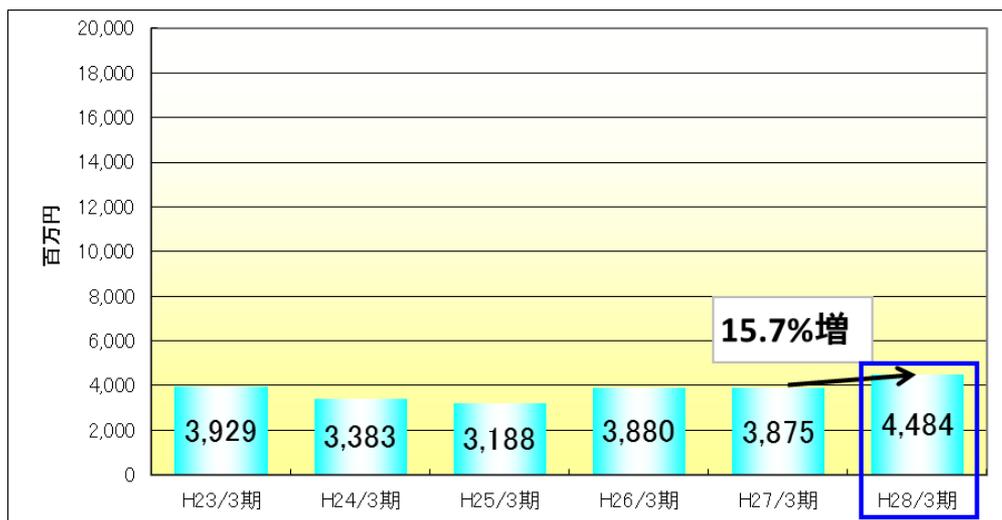
製品区分別売上高見通し(2)

3.サスペンション



- ・ パソコン需要は引き続き低調
- ・ 新規DSA受注拡大

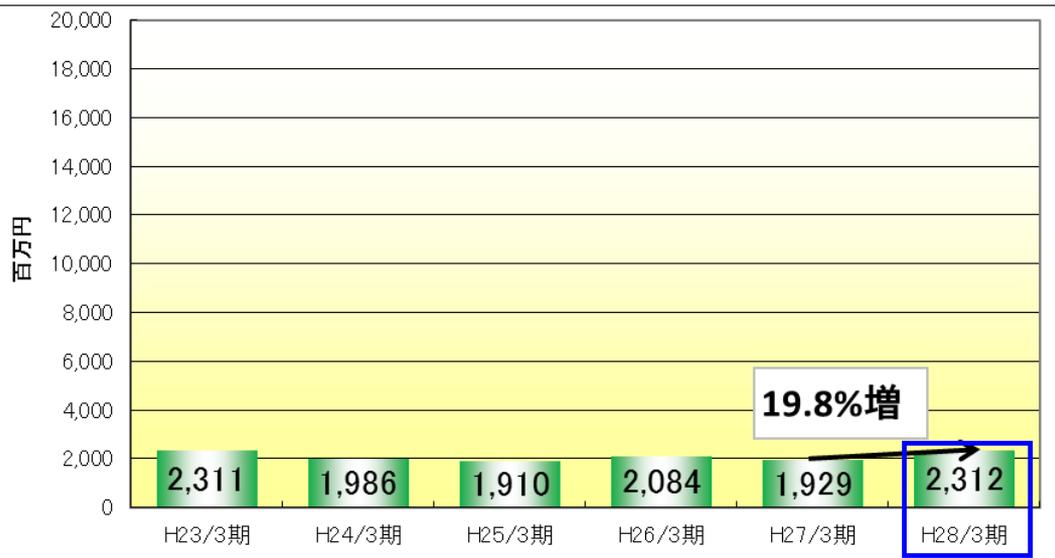
4.プリンター関連



- ・ ムクローラーの受注拡大
- ・ 新用途の開発推進
- ・ コスト削減による新規需要開拓

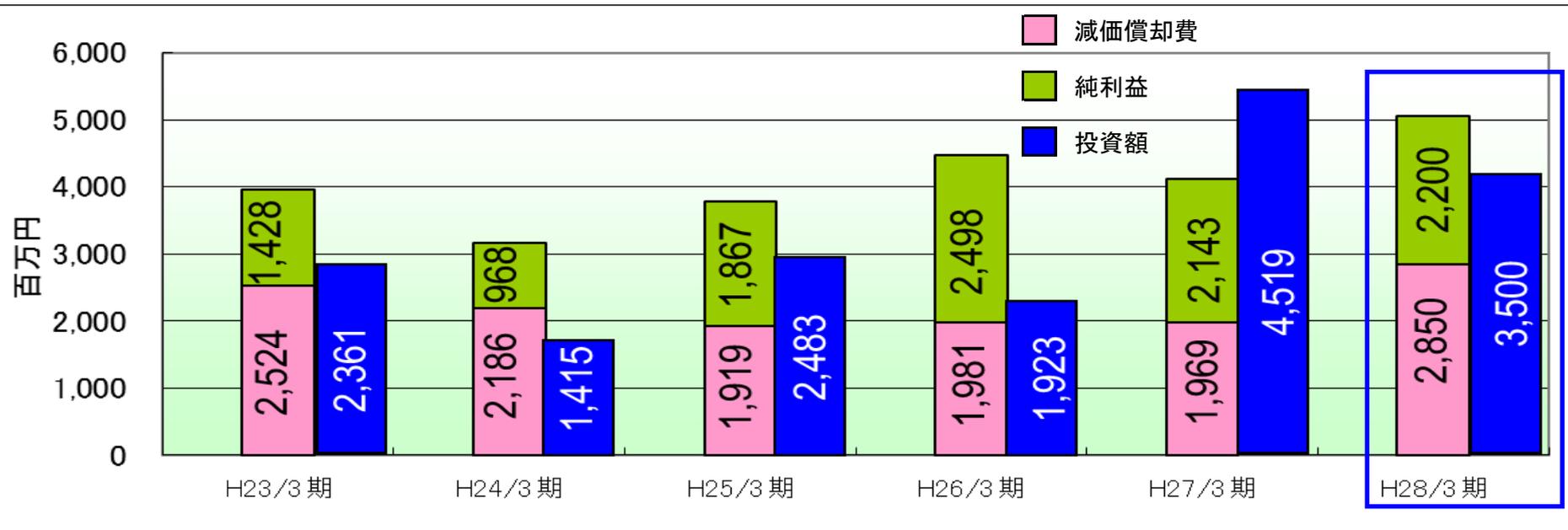
製品区分別売上高見通し(3)

5. デジトロ精密部品



・ 営業員増員により、新規顧客開拓推進

設備投資実績と見通し



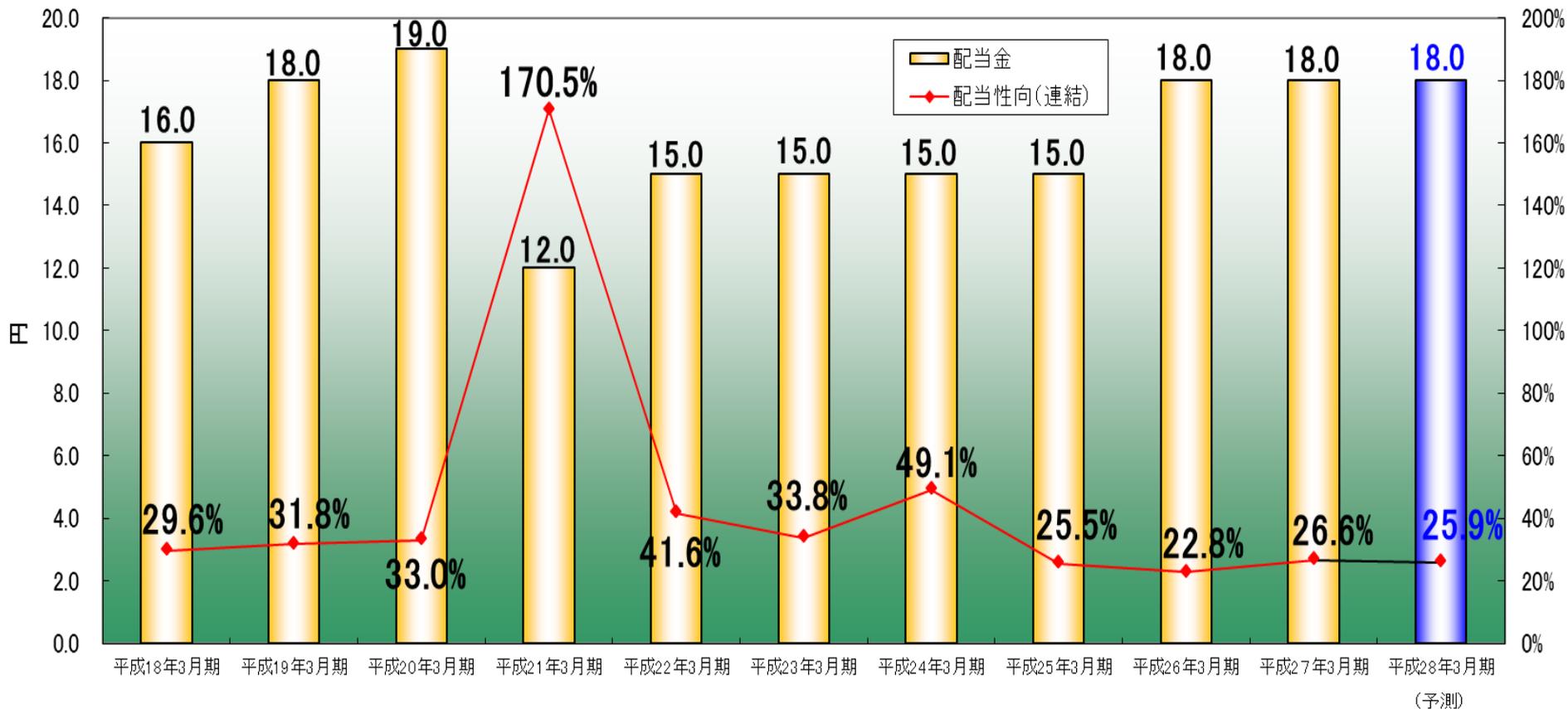
平成28年3月期計画

(注) 投資額はキャッシュフローベースです。

35億円

- 新規開発に6億円、品質改善に5億円、安全対策に2億円
- 能増投資等に22億円

配当見通し



安定配当を基本方針とし、堅実経営の観点に基づき判断

平成28年3月期予想 中間8円、 期末10円、 計18円